



2007年2月1日
アルゼンチン共和国大使館

－アルゼンチン有機食品：対日輸出条件の改善－

1. アルゼンチン有機規格・認証制度と日本の JAS 認定制度同等性承認へ

2006年12月12日、度重なる交渉の後、アルゼンチン共和国は日本政府によるアルゼンチン有機規格認証制度と JAS 認定制度の同等性承認獲得に至りました。

この同等性獲得のため両国関連当局は基本合意覚書を調印し、ここにはアルゼンチン当局、有機認証機関、その他の関係者が遂行すべき特定条件が設定されています。

今回の同等性獲得により、有機農産品目およびその加工品目を生産するアルゼンチン企業が日本の JAS マーク（日本農林規格）を付けて対日輸出を行えるようになります。この場合の認証に関わる手続きは以前よりも簡単で低コストとなります。なぜなら、アルゼンチン当局から認定された国内有機認証機関で輸出手続を行うだけで、日本人輸入業者の手続きが簡略化されるからです。

つまりアルゼンチン国内で認証された有機食品は、品質や動植物検疫に関して厳しい日本市場に、新たな認証手続きの必要無しに輸入できるようになったのです。

アルゼンチンは南米で初めて、アメリカ大陸全体では 2 番目に日本政府による有機規格認証制度の同等性を得、JAS マーク発行許可を取得した世界 18 カ国の仲間入りを果たしました。その結果、国内有機食品の品質が認められただけでなく、競争力という点において対日本市場輸出強化のために好ましいメリットを得ることになりました。

さらに、日本の消費者は自然食品・健康食品に対する意識がとても高く、食品安全を重要視するという点もアルゼンチン有機食品の対日輸出強化において重要な点です。また、日本人消費者は品質に厳しいだけでなく、一人当たりの GDP が年間 35,000 ドルという高い経済力を有しています。そのため有機食品が与えてくれる健康メリットに対する出費を惜しまないということもアルゼンチン有機食品輸出に対する好ましい傾向だと言えます。

日本の有機食品輸入に関する公式統計はありませんが、さまざまな情報から、日本の有機食品市場はおよそ 10 億ドルの規模で、年間 15～20% の成長率を見せているということが言えます。

プレスリリース

その中でも輸入有機食品のシェアは大きく、日本の食糧自給率が40%で、そのうち有機食品が占める割合はたったの0.15%だということを考慮すると、海外からの有機食品はとても重要な存在と言えます。

アルゼンチン企業は日本のオーガニック市場で開かれる新しいチャンスを意識しています。今年開催される国際食品・飲料展 FOOD EX (3月13日～16日)には2つの重要な有機認定機関とアルゼンチン各地の企業家グループが出展し、高品質で健康に良いアルゼンチン有機食品のプロモーションを行います。そこでは国際的に認められているアルゼンチン産オリーブオイルなど、さまざまなグルメ商品を日本の方に紹介します。

2. オーガニック生産・輸出国アルゼンチン

アルゼンチンは世界的でも主要な有機食品生産国であり、南米初の国内有機規格認定制度の制定や(1992年)、欧州からも認証制度同等性の承認を得ていること(1996年)も特筆できます。

2005年のデータによれば、アルゼンチンは世界第3の有機食品生産国であり、その有機生産総面積は310万ヘクタールに上ります。そのうち230万ヘクタールが有機酪農、386,000ヘクタールが有機農業であり、主に地方などの小零細企業が3,400以上の施設で有機生産を行っています。

アルゼンチンの有機食品は主に輸出用に生産されており、2005年有機農産物の輸出総額は前年度比の41%増、輸出量では65,000トンに達しました。主要輸出先はEU(全体の60%)、米国(27%)、そしてスイス(4%)ですが、イスラエル、カナダ、エクアドル、ロシア、ノルウェー、チリ、日本などの新市場の存在も目立ちます。

有機食品の主要輸出品目は工業製品(砂糖、ワイン、柑橘類ジュース、オリーブオイル、リンゴ・洋ナシのピューレー、濃縮果汁、ホホバ油)、穀類、油類(大豆油、小麦油、アマ油、トウモロコシ油、ヒマワリ油)、果物(洋ナシ、リンゴ、プラム、レーズン、ドライリンゴ)、野菜・豆類(タマネギ、ニンニク、カボチャ)、香料、羊毛、牛肉、ハチミツで、日本の食卓でも馴染みの深い品目がほとんどです。

以上のことから、アルゼンチンは日本の有機食品市場で大きく成長し、その市場で地位を確立していく条件を備えていると期待されています。

添付資料

1. アルゼンチン輸出先別有機食品輸出統計資料(2005年)
2. アルゼンチン有機規格認証制度同等性が発行した省令90号の公式発表資料(2006年12月12日)

添付資料 1

表 1 : 輸出先別有機認証品目 (植物性) 輸出総量 (2005 年)

(単位: KG)

品目	輸出先				合計
	EU	米国	スイス	その他	
2005 年輸出総量	39,034,515	17,971,580	2,837,882	5,693,139	65,537,115
穀類・油類	7,900,976	6,899,080	2,830,210	3,647,366	21,277,633
大豆	3,109,054	4,950,980	320,200	311,610	8,691,844
小麦	2,485,840	949,620	1,808,120	1,844,880	3,653,000
アマ				97,740	3,533,200
トウモロコシ				1,158,550	2,157,030
ヒマワリ油	1,516,940		382,720	25,000	1,924,660
カルタモ	567,990			1,995	569,985
白小麦粉			243,310		243,310
米				186,000	186,000
ヒマワリ種 (砂糖菓子)	163,636			18,598	182,234
ヒマワリ種	57,516		37,500	2,994	98,010
キビ			38,360		38,360
果物	15,623,257	4,000,176	0	587,132	20,210,564
洋ナシ	8,453,620	3,338,883		321,008	12,113,511
リンゴ	6,530,849	625,453		245,124	7,401,425
アラム	510,853	16,800			527,653
ブドウ	55,000				55,000
ラズベリー	38,400				38,400
レモン				21,000	21,000
サクランボ	20,895				20,895
イチゴ		19,040			19,040
野菜・豆類	6,144,319	259,367	0	2,200	6,405,886
タマネギ	4,283,961	83,562			4,367,523
ニンニク	1,027,513	62,000			1,089,513
カボチャ	438,464				438,464
乾燥インゲン豆	264,870	80,000			344,870

表 1 : 輸出先別有機認証品目 (植物性) 輸出総量 (2005 年)

(単位: Kg)

品目	輸出先				合計
	EU	米国	スイス	その他	
瓜	69,550				69,550
アスパラガス	9,170	33,805		2,200	45,175
ビート	20,952				20,952
サツマイモ	17,280				17,280
エシヤロット	12,000				12,000
ニンジン	560				560
香料	10,471	12,422	45	532	23,470
タラゴン	108	5,364		3	5,475
オレガノ	3,700			261	3,961
セイヨウヤマハツカ	1,800	900			2,700
タイム	2,400			57	2,457
キダチハツカ	2,124			21	2,124
ローズマリー		2,002			2,023
ラベンダー		1,950			1,950
セドロン	300	1,250		3	1,553
ラバンジン		500		60	560
サルビア		204		122	326
ヒソツヂ		252			252
ロセーラ	39		45		84
ミント				5	5
工業製品	9,355,491	6,800,535	7,627	1,455,909	17,619,562
砂糖	5,777,749	4,999,824		835,000	11,612,573
クイン	1,478,161	66,078		17,405	1,561,643
ブドウ濃縮モスト	136,640	412,624		258,350	807,614
洋ナシのピューレー	599,073	46,487		12,785	658,344
レモン濃縮果汁		423,068		6,500	429,568
オレソジジュース	330,800				330,800
オリーブオイル	158,520	151,560		20,409	330,489
洋ナシ濃縮果汁	82,440	138,858			221,298

表 1：輸出先別有機認証品目（植物性）輸出総量（2005年）

（単位：kg）

品目	輸出先				合計
	EU	米国	スイス	その他	
リンゴ濃縮果汁		171,205		26,229	197,434
トウモロコシ粉	192,000				192,000
ブドウのピューレー	157,500	19,394		2,920	179,814
スモモのピューレー		75,102		46,284	121,386
カボチャのピューレー	57,066	18,447		31,063	106,575
マテ茶	49,095	49,023	1,187	5,040	104,345
ホミニーグリッツ	96,000			250	96,250
糖蜜		80,090			80,090
大豆粉				61,130	61,130
ドライゼラム	24,000	37,007			61,007
ホホバ油	51,120	8,160		1,325	60,605
オレンジ濃縮果汁				57,168	57,168
洋ナシ果肉	39,380			7,426	46,806
リンゴピューレー	44,502				44,502
ヒマワリ油		43,820			43,820
ドライリンゴ	20,250	11,977	2,500		34,727
レモンエッセンシャルオイル	6,660	19,800			26,460
モモピューレー		21,159		4,636	25,795
スモモ果肉	18,844				18,844
アルコール	17,480				17,480
オート麦粉				15,300	15,300
ネクターリン果肉				10,971	10,971
冷凍ラズベリー				10,010	10,010
スモモ凝縮果肉			3,826	3,515	7,341
スモモ凝縮ピューレー				6,965	6,965
乾燥ニンニク	5,680				5,680
紅茶	495		114	4,829	5,438
菓子	4,867				4,867
グレープフルーツ凝縮果汁				4,752	4,752

表 1: 輸出先別有機認証品目 (植物性) 輸出総量 (2005 年)

(単位: Kg)

品目	輸出先				合計
	EU	米国	スイス	その他	
乾燥洋ナシ		4,196			4,196
ネクターリンピューレー				3,633	3,633
オレンジエッセンシャルオイル	2,700				2,700
冷凍イチゴ				2,016	2,016
生パスタ	1,845				1,845
リンゴ、洋ナシ香料・エッセンス	1,816				1,816
オリーブ油漬け乾燥トマト	43	1,376			1,420
乾燥サクランボ		650			650
バルサミコ酢		630			630
グレープフルーツエッセンシャルオイル	360				360
乾燥トマト	218				218
マンダリンオレンジエッセンシャルオイル	180				180
豆腐	10				10

出所: 有機認証機関の情報を基に農業衛生品質管理局 (SENASA) が作成